

2024 年度事業報告書

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

創立 50 周年記念事業		
1	記者会見	
2	連続講座「日本の国際アンデルセン賞受賞作家たち」(全 5 回)	
3	記念展示(国立国会図書館国際子ども図書館共催)	
4	国際シンポジウム「いま、子どもの本は世界とどうかわるのか」	
5	絵本作家イベント「絵本作家たちのアート大喜利」	
6	50 年史「こどもとほんの JBBY 50 年のあゆみ」刊行	
7	記念出版『おすすめ! 子どもの本: 新しい時代をつくる 350 冊』刊行(小学館)	
8	祝賀会	
国際交流事業		
1	国際講演会	本年度は実施せず
2	IBBY 支部としての活動	ア) IBBY 世界大会への参加(イタリア・トリエステ) イ) IBBY アジアパシフィック地域ニューズレター ウ) 国際子どもの本の日キャンペーン エ) 日中韓共同プロジェクト オ) IBBY への協力(年会費の納入/ スポンサーとの折衝/ チルドレン・イン・クラ イシス)
3	国際賞への推薦	ア) 2026 国際アンデルセン賞 イ) 2025 IBBY サイレント・ブックス ウ) 2024 アストリッド・リンドグリーン記念文学賞
4	派遣・出展事業	ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア(イタリア)
調査研究・情報提供事業		
1	JBBY 賞	隔年事業
2	図書展	ア) 世界の子どもの本展(7 会場) イ) 世界のバリアフリー児童図書展(17 会場)
3	ブックリストの作成	ア) 「IBBY がすすめる世界の児童書 2024」 イ) 「おすすめ! 日本の子どもの本 2024」 ウ) 「Japanese Children's Books 2024」 エ) 「おすすめ! 日本と世界の子どもの本 2025」 オ) 「Japanese Children's Books 2025」
4	講座・研究会	ア) JBBY 希望プロジェクト・学びの会(1 回)
5	会報の発行	「Book & Bread」(年 4 回)
6	オンラインによる広報活動等	ホームページ / Facebook / Facebook 会員サロン / X / X 英文 / Instagram / YouTube チャンネル / Peatix / メールマガジン / LINE オープンチャット
7	協力事業ほか	ア) 子どもの読書推進会議 イ) 「ブラチスラバ世界絵本原画展・世界の絵本バレード」(国内巡回展) ウ) 山田養蜂場「ミツバチの絵本コンクール」 エ) 太田市美術館・図書館 オ) 後援事業
その他の事業		
1	イタリア・ボローニャ国際絵本原画展	巡回展事務局業務(2 会場)
2	JBBY 希望プロジェクト	ア) 支援活動(野馬追文庫・児童施設・避難してきた子ども ほか) イ) あしたの本だな ウ) 募金活動

3	フォーラム・子どもたちの未来のために	
4	会員活動	ア) ノンフィクションの子どもの本を考える会(2回) イ) 絵本部(1回) ウ) おしゃべり本の虫の会(2回) エ) YouTube で本を紹介 オ) 紙芝居部発足
5	物販	『おすすめ! 子どもの本: 新しい時代をつくる 350 冊』(小学館) ほか
組織・その他		
1	総会・理事会	定時総会 1 回(6 月) / 理事会 6 回

● 2024 年度カレンダー (2024 年4月～ 2025 年3月)

4月	2 日 -5 月 30 日: 世界の子どもの本展 (東京都・出版クラブビル) 8-11 日: ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア出展 (イタリア) 19 日: 50 周年記念記者会見 (東京都・出版クラブビル) 25 日: 理事会① IBBY 年会費の納入
5月	6 日: 絵本部遠足 (太田市美術館・図書館) 8-21 日: 世界のバリアフリー児童図書展 (東京都・杉並区立今川図書館) 18 日: 50 周年記念連続講座「日本の国際アンデルセン賞受賞作家たち① 安野光雅」 21 日: 理事会② 27 日: ノンフィクションの子どもの本を考える会① (オンライン)
6月	4-30 日: 世界のバリアフリー児童図書展 (福島県・本宮市立しらさわ夢図書館) 8 日: 50 周年記念連続講座「日本の国際アンデルセン賞受賞作家たち② まど・みちお」 15-25 日: 世界のバリアフリー児童図書展 (岩手県・盛岡市立図書館) 26 日: 第 52 会定時総会・報告会・親睦会 (オンライン) 30 日: 会報 159 号発行
7月	2 日 -8 月 12 日: イタリアボローニャ国際絵本原画展 (東京都・板橋区立美術館) 5 日: おしゃべり本の虫の会① (オンライン) 8-19 日: 世界のバリアフリー児童図書展 (愛知県・至学館大学) 21 日: 50 周年記念連続講座「日本の国際アンデルセン賞受賞作家たち③ 赤羽末吉」 23-29 日: 世界のバリアフリー児童図書展 (神奈川県・横浜ラポール) 24 日 -8 月 7 日: 世界の子どもの本展 (兵庫県・ひょうご国際プラザギャラリー)
8月	17 日 -10 月 14 日: イタリアボローニャ国際絵本原画展 (兵庫県・大谷記念美術館) 23-28 日: 世界の子どもの本展 (長崎県・諫早図書館) 29 日 -9 月 1 日: IBBY 世界大会 (イタリア・トリエステ)
9月	3-12 日: 世界のバリアフリー児童図書展 (福井県・福井大学) 11 日: 理事会③ 14 日: 50 周年記念連続講座「日本の国際アンデルセン賞受賞作家たち④ 上橋菜穂子」 26 日: おすすめ日本選書会議 / 国際アンデルセン賞作家賞国内選考会 30 日: 会報 160 号発行
10月	1 日 -12 月 25 日: 50 周年記念「IBBY50 年のあゆみ展 / 国際アンデルセン賞受賞作家・画家展」(東京都・国際子ども図書館) 5 日: 50 周年記念連続講座「日本の国際アンデルセン賞受賞作家たち⑤ 角野栄子」 6.19.20.26.27 日: 50 周年記念展示週末イベント「よむ! きく! あそぶ! IBBY おすすめ☆世界と日本の子どもの本」 8-20 日: 世界のバリアフリー児童図書展 (群馬県・太田市美術館・図書館) 13-21 日: 世界の子どもの本展 (長野県・小淵沢図書館) 16 日: 国際アンデルセン賞画家賞国内選考会 24 日: 理事会④ 28 日 -11 月 5 日: 世界のバリアフリー児童図書展 (山梨県・都留文科大学)
11月	2.9.10.12 日: 50 周年記念展示週末イベント「よむ! きく! あそぶ! IBBY おすすめ☆世界と日本の子どもの本」 3-16 日: 世界の子どもの本展 (兵庫県・神戸市立名谷図書館) 8-19 日: 世界のバリアフリー児童図書展 (静岡県立大学) 12 日: 50 周年記念出版『おすすめ! 子どもの本: 新しい時代をつくる 350 冊』(小学館) 刊行 13 日: 50 周年記念誌『こどもとほんの IBBY 50 年のあゆみ』発行 16 日: 50 周年記念シンポジウム「いま、子どもの本は世界とどうかかわるのか」 / 祝賀会 (東京都・出版クラブビル) 22 日 -12 月 5 日: 世界のバリアフリー児童図書展 (東京都・荒川区中央図書館) 28 日: IBBY アジアパシフィック会議 (オンライン)

12月	7.8日：50周年記念展示週末イベント「よむ！きく！あそぶ！JBBYおすすめ☆世界と日本の子どもの本」 10-23日：世界のバリアフリー児童図書展（東京都・青山学院大学） 15日：50周年記念「絵本作家たちのアート大喜利」（オンライン） 17日：理事会⑤ 21日：50周年記念展示ギャラリートーク（東京都・国際子ども図書館） 31日：会報161号発行
1月	8日：おすすめ世界選書会議 15-26日：世界のバリアフリー児童図書展（滋賀県・愛荘町立愛知川びんてまりの館） 23日：IBBY サイレントブックス選書会議
2月	7日：おしゃべり本の虫の会②（オンライン） 19-24日：世界のバリアフリー児童図書展（大阪府・大東市立文化ホール） 21日：理事会⑥
3月	4-13日：世界のバリアフリー児童図書展（東京都・板橋区立志村図書館） 5日：ノンフィクションの子どもの本を考える会 7-20日：子どもの本の日フェスティバル（東京都・童心社 / 世界文化社、オンライン） 31日：会報162号発行 / 「おすすめ！日本と世界の子どもの本2025」発行 / 「IBBY がすすめる世界の児童書2024」発行 31日-4月3日：ボローニャブックフェア（イタリア・ボローニャ）

【JBBY 50周年記念事業】

1. 記者会見

マスコミを対象に記者会見を行った。記念事業の計画を発表するとともに、IBBYとJBBYの理念や活動について知ってもらい、子どもと子どもの本への理解と支援を呼びかけた。

開催日：2024 年 4 月 19 日（金）
会場：出版クラブビル（東京都）
・IBBY と JBBY について ・JBBY50 周年記念事業について ・ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア出展の手ごたえについて ・IBBY 記者会見の報告（国際アンデルセン賞、IBBY 朝日国際児童図書普及賞ほか） ・IBBY の選定図書（IBBY オナーリスト、IBBY バリアフリー児童図書）について

2. 連続講座「日本の国際アンデルセン賞受賞作家たち」（全 5 回）

国際アンデルセン賞を受賞した 5 人の日本人作家を取りあげ、オンラインと対面（会場は東京の出版クラブビル）の両方で実施した。
*子どもゆめ基金助成活動

5/18（土）	1984 年画家賞 安野光雅 「時代の寵児 安野光雅の世界～美術館の仕事から学んだ安野本の面白さ」	講師： 廣石修（元安野光雅美術館副館長） 協力：安野光雅美術館
6/8（土）	1994 年作家賞 まど・みちお 「まどさん、まどしてる」	講師： 市河紀子（フリーランス編集者）
7/21（日）	1980 年画家賞 赤羽末吉 「絵本画家 赤羽末吉の誕生とその業績」	講師： 赤羽茂乃（赤羽末吉研究者）、 荒川薫（元福音館書店編集者）
9/14（土）	2014 年作家賞 上橋菜穂子 「世界のしらべ 物語灯り」	講師： 上橋菜穂子（作家）
10/5（土）	2018 年作家賞 角野栄子 「物語は水平線をこえて」	講師： 角野栄子（作家）

3. 記念展示

会期：2024 年 10 月 1 日～ 12 月 25 日
会場：国立国会図書館国際子ども図書館（東京都）

ア) 国際アンデルセン賞受賞作家・画家展

国立国会図書館国際子ども図書館との共催で、初

代受賞者エリナー・ファージョンから、2022 年受賞者マリー＝オード・ミュライユとスージー・リーまでをパネルと本で紹介した。

イ) JBBY のあゆみ展

詳細な年表パネルやこれまでの主な出版物、写真などで、JBBY の 50 年を紹介した。また、国際アンデルセン賞の日本の候補者のノミネート資料（ドシエ）や、最新の受賞者ハインツ・ヤーニッシュとシドニー・スミスを紹介。会場では、JBBY ゆかりの方々からのビデオメッセージを上映し、12 月 21 日（土）にはギャラリートークも実施した。

ウ) 「よむ！ きく！ あそぶ！ JBBY おすすめ☆世界と日本の子どもの本」

展覧会会期中の週末に、IBBY と JBBY がすすめる国内外の児童書を並べ自由に手に取れるコーナーを設けた。会員有志が多言語の読み聞かせやゲームなど子ども向けの参加型イベントを実施した。

実施日	10 月 6 日、19 日、20 日、26 日、27 日 11 月 2 日、9 日、10 日 12 月 7 日、8 日
-----	---

4. 国際シンポジウム「いま、子どもの本は世界とどうかかわるのか」

第 1 部は、国際舞台で活躍する 12 人の子どもの本の作り手たちから、テーマに沿った短いビデオメッセージを送ってもらい上映した。第 2 部は、3 人の日本人の作り手が、子どもの本と世界とのかかわりについて討論した。シンポジウムの録画を 3 月末まで有料配信し、JBBY 会員は、ホームページ会員ページにて視聴できるようにした。

開催日：2024 年 11 月 16 日（土）
会場：出版クラブビル（東京都）
第 1 部 ビデオ出演： デイヴィッド・アーモンド（イギリス） ジャクリーヌ・ウッドソン（アメリカ） デボラ・エリス（カナダ） クォンユンドク（韓国） グスティ（アルゼンチン／スペイン） ピーター・シス（チェコ／アメリカ）

ラフィク・シャミ（シリア／ドイツ） 曹文軒（中国） ビヴァリー・ナイドゥー（南アフリカ／イギリス） キャサリン・バターソン（アメリカ） 降矢なな（日本／スロバキア） エミリー・ロッド（オーストラリア）
第 2 部 パネリスト： 岩瀬成子（作家） 長倉洋海（写真家） さくまゆみこ（翻訳家） コーディネーター：土居安子

5. 絵本作家イベント「絵本作家たちのアート大喜利」

会員の絵本作家たちによる「アート大喜利」と「リレートーク」をオンラインで開催した。

開催日：2024 年 12 月 15 日（日）
会場：オンライン
出演： 石川えりこ、きむらゆういち、渋谷純子、田島征三、館野鴻、田中清代、垂石眞子、とよたかずひこ、中辻悦子、降矢なな、堀川理万子、シドニー・スミス（特別出演） 司会：土居安子、広松由希子

6. 50 年史「こどもとほんの JBBY50 年のあゆみ」刊行

JBBY の半世紀を記録した 50 年史を刊行。年表のほか、国内外の子どもの本関係者の書きおろしエッセイや、「会報」過去号からの抜粋原稿を収録。国際アンデルセン賞受賞者や国際子どもの本の日歴代ポスター等の資料も掲載。

B5 判／ 120 ページ／表紙 4 色、中モノクロ	
発行日	2024 年 11 月 13 日
表紙画	安野光雅（空想工房）
編集委員	阿部薫（編集長）、赤石忍、植村志保理、 高野直子、田中明子、堤嘉代、野上暁、 堀内まゆみ、松井紀美子、松岡由紀、 山川史郎

7. 記念出版『おすすめ！子どもの本：新しい時代をつくる 350 冊』刊行（小学館）

2018 年から毎年刊行している JBBY のブックガイド「おすすめ！日本の子どもの本」「おすすめ！世界の子どもの本」から 350 点を厳選し、テーマ別に分類し直して単行本として刊行した。

四六判／192 ページ／4 色／本体価格 1,600 円	
発行日	2024 年 11 月 12 日
出版社	小学館
表紙画	降矢なな
監修	さくまゆみこ、土居安子、野上暁

8. 祝賀会

会員交流を目的に、関係者が集い祝賀会を行った。参加者による貴重なスピーチのほか、ゲームや音楽で楽しい時間となった。

開催日	2024 年 11 月 16 日（土）
会場	出版クラブビル 3 階ホール（東京都）
出席	152 人

【国際交流事業】

1. 国際講演会

本年度は実施せず

2. IBBY 支部としての活動

ア) IBBY 世界大会への参加

イタリアのトリエステで開催された第 39 回 IBBY 世界大会に参加した。

会期	2024 年 8 月 30 日～9 月 1 日
会場	イタリア・トリエステ
テーマ	変化をもたらせ！すべての子どもにすぐれた本を

日本の参加者	宇野和美、広松由希子、笹岡智子、高野直子、田久保遥（講談社）、浅香幸枝、松井紀美子、松岡希代子、村山隆雄、森泉文美、山内棕子、鳥塚尚子 非会員 坪井伸樹（国際子ども図書館）、伊藤宏樹・杉山正（朝日新聞社）
--------	---

イ) IBBY アジアパシフィック地域ニューズレター

アジアパシフィック地域の IBBY 支部によるオンラインニューズレターに寄稿した。

発行日	2024 年 9 月
表紙に協力	館野鴻（『どんぐり』小峰書店より）
寄稿国（順不同）	中国、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、モンゴル、ベトナム

ウ) 国際子どもの本の日キャンペーン（2025）

(1) 世界共通ポスターとメッセージの発信
オランダ支部が制作した 2025 年国際子どもの本の日ポスターとメッセージを日本語版にアレンジし、オンラインで発信するほか、JBBY 会員、全国の公共図書館や関連施設等に配布。オランダ支部が企画した子どものイラストコンペへの参加も呼びかけた。協賛：日産自動車

メッセージ（国内用 A4 二つ折り）	文：リアン・フィッサー 日本語訳：野坂悦子 印刷部数：5,000 部
ポスター（国内用 A2 サイズ）	ポスターアート：ヤネケ・イペンプルフ 印刷部数：5,000 部
配布先	会員（650）、全国公共図書館（3400）、関連団体（150）、本の日フェスティバル参加者（400）

(2) 記念イベントの実施

「JBBY 子どもの本の日フェスティバル」を開催した。子どもの本にまつわる様々な仕事体験とおして本の面白さを伝えた。参加者のべ 500 人
協賛：日産自動車、協力：世界文化社・童心社
*子どもゆめ基金助成活動

2025 3/7.8（金土） 会場：童心社	本の世界を探検しよう！ 「IBBY オナーリスト」「おすすめ！日本 / 世界の子どもの本」等、国内外の児童書約 500 冊を展示。書店員体験、本探しゲーム、本の木づくりなどで本を楽しんだ。
--------------------------	---

3/15 (土) 会場： 世界 文化社 (以下 同じ)	翻訳家体験 『『おおきなかぶ』って、もとはどんなロシア語だったの?』 講師：南平かおり
3/15 (土)	科学あそび① 「おっと音の実験だ～エコーマイクとおどるへび君をつくろう」 講師：坂口美佳子
3/15 (土)	科学あそび② 「めでタイカードをつくろう～磁石の実験」 講師：坂口美佳子
3/15 (土)	絵本作家体験 「絵本のお話をみつけましょう！」 講師：児島なおみ
3/16 (日)	絵本づくり体験 「みんなで絵本をつくろう」 講師：もぎあきこ、森あさ子、長尾すみれ
3/16 (日)	あそぶうたと工作 「紙コップ人形で歌って！踊って！お話であそぼう！」 講師：土地史人、三根政信
3/16 (日)	図書館員体験 「やってみよう！おはなし会」 講師：汐崎順子
3/16 (日)	画家体験 「IBBY 版 こどもタテノ塾」 講師：館野鴻
3/16 (日)	製本体験 「ミニミニ絵本を作ろう～キラキラのしおり付」 講師：宮崎詞美、萩原久美子
3/20 (木祝) オンライン	作家・画家・翻訳家体験 「子どもの本おしごと相談室」 講師：小松原宏子、那須田淳、あべ弘士、ひろかわさえこ、かみやにじ、笹山裕子 司会：小方桂子、藤田隆弘

■国際子どもの本の日

IBBY は 1966 年に、アンデルセンの誕生日である 4 月 2 日を「国際子どもの本の日」と定め、各国で本を普及するイベントを奨励した。翌 67 年からは、IBBY 支部が交代に記念ポスターとメッセージを作成し、世界中に発信している。

エ) 日中韓共同プロジェクト

2019 年に始動。IBBY の日本・中国・韓国支部が毎年テーマを決めて 5 冊ずつ自国のおすすめ本を選ぶ。第 6 回のテーマは「Nature (自然)」。中国・韓

国の本の情報が揃い次第ウェブサイトを更新する。

<https://jbby.org/cjkbby-project/>

日本の本	
『た』(絵本) 田島征三作 / 佼成出版社	
『はだしであるく』(絵本) 村中李衣文 / 石川えりこ 絵 / あすなろ書房	
『草のふえをならしたら』(読みもの) 林原玉枝作 / 竹上妙画 / 福音館書店	
『もりはみている』(ノンフィクション) 大竹英洋著 / 福音館書店	
『里山の自然 雑木林の 20 年』(ノンフィクション絵本) 瀬長剛 絵・文 / 偕成社	
選書	奥山恵、坂口美佳子、さくまゆみこ、 笹岡智子、汐崎順子、土居安子、広松 由希子、福本友美子、野上暁
協力	神谷丹路、王玉、李麗 竹迫祐子、藤田隆広、堀内まゆみ

オ) IBBY への協力

(1) 年会費の納入

7,500 スイスフラン (=1,275,675 円) を納めた。IBBY の会費カテゴリーは、その支部の年間児童書出版点数を基準に決まる。JBby は最多のカテゴリー 1 に属する。

【IBBY 支部：85 の国と地域 (2025 年現在)】

アイスランド、アイルランド、アゼルバイジャン、アフガニスタン、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、アルゼンチン、アルメニア、イギリス、イタリア、イラン、インド、インドネシア、ウガンダ、ウクライナ、ウズベキスタン、ウルグアイ、エクアドル、エジプト、エストニア、エチオピア、エルサルバドル、オーストラリア、オーストリア、オランダ、ガーナ、カナダ、カメルーン、韓国、カンボジア、キプロス、キューバ、ギリシャ、グアテマラ、クロアチア、コスタリカ、コロンビア、ジンバブエ、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、タイ、チェコ、中国、チリ、デンマーク、ドイツ、ドミニカ、トルコ、ナイジェリア、日本、ニュージーランド、ネパール、ノルウェー、ハイチ、パキスタン、パレスチナ、ハンガリー、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ブルガリア、ベトナム、ベネズエラ、ペルー、ベル

ギー、ポーランド、ボリビア、ポルトガル、マレーシア、南アフリカ、メキシコ、モルドバ、モロッコ、モンゴル、ヨルダン、ラオス、ラトビア、リトアニア、レバノン、ロシア

(2) IBBY と日本のスポンサーとの連携協力
連絡や交渉の中継や、会議の段取りをした。

IBBY 朝日国際児童図書普及賞	朝日新聞社
IBBY 山田基金	山田養蜂場

■ IBBY 朝日国際児童図書普及賞
(IBBY-Asahi Reading Promotion Award)

1986 年に東京で、アジアで初めての IBBY 世界大会が開催された際、朝日新聞社が IBBY の活動に賛同して創設した賞。図書普及や識字活動で成果をあげた団体に贈られる。

■ IBBY 山田基金 (IBBY-Yamada Fund)

スマトラ島沖地震 (2004) に対し山田養蜂場から寄せられた義援金を元に 2005 年に発足した基金。その後も支援は継続し、年間 8 ～ 10 の国と地域で、読書推進のための草の根ワークショップを行う。

(3) IBBY チルドレン・イン・クライシスへの協力
IBBY が呼びかける募金に適宜協力した。2024 年はパレスチナ・ガザへの支援を呼びかけた。

■ IBBY チルドレン・イン・クライシス
(IBBY Children in Crisis)

自然災害や紛争などで危機に直面している子どもたちを本で支援する。IBBY 支部や関連団体が現地で行う支援活動を支えるための国を超えた募金活動。

3. 国際賞への推薦

ア) 2026 国際アンデルセン賞 (隔年事業)

2026 年の選考にむけ、日本の作家と画家を推薦した。

作家賞	富安陽子	代表 5 冊 『小さな山神スズナ姫』『まゆとおに』『盆まねき』『絵物語古事記』『博物館の少女』
画家賞	あべ弘士	代表 5 冊 『どうぶつえんガイド』『ライオンのながいいちにち』『宮沢賢治「旭川。」より』『よあけ』『アリュレーション・マジック』



国際アンデルセン賞推薦資料 (ドシエ)

▽国内選考会

作家賞	2024 年 9 月 26 日 IBBY 事務局 (東京都) 選考委員: さくまゆみこ、代田知子、土居安子、中野怜奈、野上暁
画家賞	2024 年 10 月 16 日 IBBY 事務局 (東京都) 選考委員: 申明浩、土居安子、広松由希子、増田喜昭、松岡希代子

■ 国際アンデルセン賞
(Hans Christian Andersen Awards)

IBBY が 1953 年に創設した、子どもの本の初めての国際賞。作家賞と画家賞があり、作り手の全業績を対象に 2 年に一度贈られる。子どもの本で平和という理念と、その水準の高さから「小さなノーベル賞 (Little Nobel)」とも称される。

イ) 2025 IBBY サイレント・ブックス (隔年事業)

会員から募った候補作品をもとに、4 冊を選定し、IBBY に推薦した。うち、『たびにでよう』がオナーブックに選ばれた。

『世界』 junaida 作 / 福音館書店
『たびにでよう』 降矢なな作 / 童心社
『どっとこむしずかん』 中村至男作 / 福音館書店
『どんぐり』 たてのひろし作 / 小峰書店

▽国内選考会

選考会	2025 月 3 月 20 日 出版クラブビル会議室 (東京都)
選考委員	笹岡智子、広松由希子、山本美希

■ IBBY サイレント・ブックス (IBBY Silent Books)

IBBY イタリア支部が 2012 年に始めた活動。移民・難民が多い地中海の島ランペドゥーサに子ども図書館をつくり、どんな言語圏の子どもも楽しめるよう文字のない絵本を収集した。2013 年からは隔年で IBBY 各支部から文字のない絵本を募っている。日本は第 3 回 (2017 年) より参加している。

【調査研究・情報提供事業】

1. JBBY 賞 (隔年事業)

本年度は実施せず

2. 図書展

ウ) 2024 アストリッド・リンドグレン記念文学賞

2023 年に続き、田島征三氏を推薦した。

■ アストリッド・リンドグレン記念文学賞

スウェーデンの児童文学作家アストリッド・リンドグレンの功績を記念し、スウェーデン政府が 2002 年に創設した国際賞。子どもの本の作り手、子どもの本の普及に貢献した人・団体が対象。日本で推薦権を有するのは、JBBY と大阪国際児童文学振興財団、日本図書館協会、荒井良二氏 (2005 年受賞者)。

ア) 世界の子どもの本展 (7 会場)

2022 年 IBBY オナーリストに選ばれた 163 冊 (53 の国と地域 47 言語) と、2022 年国際アンデルセン賞を受賞したマリー＝オード・ミュライユ、スージー・リーの作品を 7 会場で巡回展示した。

▽巡回展

4/2 ~ 5/31	東京都	出版クラブビル
6/15 ~ 25	岩手県	盛岡市立図書館
7/24 ~ 8/7	兵庫県	ひょうご国際プラザ
8/23 ~ 28	長崎県	諫早市立諫早図書館
10/13 ~ 21	山梨県	北杜市小淵沢図書館
11/3 ~ 16	兵庫県	神戸市立名谷図書館
3/18 ~ 5/25	東京都	国立国会図書館国際子ども図書館
日本の選定図書	『徳治郎とボク』(花形みつる作 / 理論社)、『つかまえた』(田島征三作 / 偕成社)、『ケンタウロスのボロス』(長野徹訳 / ロベルト・ピウミーニ作 / 岩波書店)	

4. 派遣・出展事業

ア) ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア (イタリア)

(1) 2024 年出展

イタリアで開催されたボローニャ・チルドレンズ・ブックフェアに国際交流基金 (JF) と共同ブースを出展した。ブースには、今注目の日本の子どもの本を展示。レセプションや講演会、ポートフォリオレビュー等も行った。出展用に作成したタブロイドや JBBY の英語版おすすめ本リーフレットも配布した。

会期	2024 年 4 月 8 ~ 11 日
ブース	Hall 29-C15
プログラム	・レセプション ・講演会「日本におけるイタリアの児童書」(稲田周子) ・講演会「日本の絵本」(広松由希子) ・ミニトーク「日本で児童書と出会える場所」(福井千衣) ・紙芝居実演 (野坂悦子) ・ブックトーク (降矢なな) ・ポートフォリオレビュー (4 回) ・翻訳道場 (森泉文美 / M.E.Tisi)

イ) 世界のバリアフリー児童図書展 (17 会場)

2023 年の IBBY セレクション 40 冊に、点字付日本語解説、音声解説等を添えて 17 会場で巡回展示した。

5/8 ~ 21	東京都	杉並区立今川図書館
6/4 ~ 30	福島県	本宮市立しらさわ夢図書館
7/8 ~ 19	愛知県	至学館大学附属図書館
7/23 ~ 29	神奈川県	横浜ラポール
8/20 ~ 29	東京都	国際交流基金本部オフィス
9/3 ~ 12	福井県	福井大学附属図書館医学図書館
9/21 ~ 29	東京都	西東京市ひばりが丘図書館

(2) 2025 年出展準備

2025 年も国際交流基金との共同ブース出展が叶い準備した。会期: 2025 年 3/31 ~ 4/3。

10/8 ～ 20	群馬県	太田市美術館・図書館
10/28 ～ 11/5	山梨県	都留文科大学附属図書館
11/8 ～ 19	静岡県	静岡県立大学短期大学部附属図書館
11/22 ～ 12/5	東京都	荒川区立ゆいの森あらかわ
12/10 ～ 23	東京都	青山学院大学図書館
1/6 ～ 11	埼玉県	聖学院大学総合図書館
1/15 ～ 26	滋賀県	愛荘町立愛知川びんてまりの館
2/19 ～ 24	大阪府	大東市立文化ホール市民ギャラリー
3/4 ～ 13	東京都	板橋区立志村図書館
3/21 ～ 30	高知県	高知こどもの図書館
日本の選定図書 『わたしが障害者じゃなくなる日：難病で動けなくてもふつうに生きられる世の中のつくりかた』（海老原宏美著／旬報社）、『クッキーづくりの仕事：洋美さんの1日』（コトノネ編集部／埼玉福祉会）、『りんごだんだん』（小川忠博 写真・文／あすなろ書房）		

3. ブックリストの作成

ア)「IBBY がすすめる世界の児童書—2024 年国際アンデルセン賞と IBBY オナーリスト」

IBBY が作成した「2024 IBBY Honour List」の日本語版を発行した。2024 年 IBBY オナーリストに選定された 184 タイトルと、2024 年国際アンデルセン賞を受賞したハインツ・ヤーニッシュ、シドニー・スミスを紹介。費用削減のため今年から、本のあらすじは文学作品とイラストレーション作品のみとした。解説文の翻訳は、会員の各言語専門家に依頼。

AB 判／40 頁／4 色	
発行日	2025 年 3 月 31 日
翻訳協力	愛甲恵子、王玉、大作道子、おおつかのりこ、大友香奈子、片桐早織、神谷丹路、木村有子、河野万里子、櫻井映子、武富博子、南平かおり、野坂悦子、松浦直美、松方路子、村岡直子、よこのなな、若松宣子、脇本美穂、李麗

編集協力	板谷ひさ子、植村志保理、川辺剛彦、鈴木真紀
協賛	日産自動車

イ)「おすすめ！ 日本の子どもの本 2024」

海外に紹介したい日本の子どもの本のブックガイド。2022 年 9 月から 2023 年 8 月に刊行された本の中から、絵本・読みもの・ノンフィクションのカテゴリーで合計 89 冊を紹介。

AB 判／24 ページ／4 色	
発行日	2024 年 3 月 31 日
選書・執筆	奥山恵、坂口美佳子、さくまゆみこ、笹岡智子、汐崎順子、土居安子、野上 暁
表紙画	田島征彦
協力	梓澤設夫、高野直子、堀内まゆみ、山崎美紀
特別協賛	日本児童教育振興財団

▽掲載図書（89 冊・掲載順）

■ 絵本	
『うみのたからもの』講談社	『おじいちゃんのくしゃみ』福音館書店
『おはようどり』福音館書店	『カイト』講談社
『ごぼうせんせいのいそがしいいちにち』佼成出版社	『さくらのふね』小峰書店
『せかいでいちばんおおきなネコ』絵本塾出版	『たびにでよう』童心社
『ちきゅうパスポート』BL 出版	『なつやすみ』福音館書店
『ふゆのコートをつくりに』ブロンズ新社	『みえないりゅう』ミシマ社
『みち』あすなろ書房	『ルイの冒険』講談社
『わたしおねえちゃんになります』こぐま社	『あいうえおばけのおまつりだ』ロクリン社
『アリュेशन・マジック』のら書店	『いのちがかえっていくところ』童心社
『ちいさなトガリネズミ』偕成社	『ぼくとお山と羊のセーター』偕成社
『ゆきのげきじょう』小学館	『ウマと話すための7つのひみつ』偕成社

『押絵と旅する男』あすなろ書房	
■ 読みのもの	
『がっこうのてんこちゃん』福音館書店	『ナナカラやまものがたり 全3巻』あすなろ書房
『ピクルスとともにだち』福音館書店	『森のポストをあけてごらん』ポプラ社
『やまだめいたちのえにっき』理論社	『新装版 車のいろは空のいろ ゆめでもいい』ポプラ社
『ジャングルジム』ゴ布林書房	『じゅげむの夏』佼成出版社
『世界の女の子の昔話』偕成社	『なりたいわたし』フレーベル館
『ひとりかもしれない』フレーベル館	『ふしぎ草紙』小学館
『ゆうすげ村の紙すき屋さん』講談社	『ラッタくんとかみやまくん』ポプラ社
『雨の日が好きな人』講談社	『エッコさん』アリス館
『かげふみ』光村図書出版	『5年3組びっくりだ』静山社
『どすこい!』国土社	『夏に、ネコをさがして』徳間書店
『奉還町ラブソディ』BL出版	『真昼のユウレイたち』偕成社
『あした、弁当を作る。』講談社	『イコトラベリング 1948-』角川書店
『きみの話を聞かせてくれよ』フレーベル館	『金曜日のあたしたち』静山社
『スクランブル交差点』小学館	『手で見えるぼくの世界は』くもん出版
『ぼくたちはまだ出逢っていない』ポプラ社	『マスク越しのおはよう』講談社
『夜空にひらく』アリス館	
■ ノンフィクション	
『やさいのはなんのはな?』岩崎書店	『うまれたよ! オケラ』岩崎書店
『キャンピングカーのたび』福音館書店	『給食室のいちにち』少年写真新聞社
『コブシメがやってきた!』アリス館	『草原が大好きダリアちゃん』アリス館
『トマト』小学館	『夏の小川にかがやく宝石、オニヤンマ』小学館

『うに』仮説社	『海に生きる!ウミガメの花子』偕成社
『黒部の谷の小さな山小屋』アリス館	『宿場町の日』講談社
『しんかい 6500』くもん出版	『石油のものがたり』福音館書店
『大接近!工場見学 紙』岩崎書店	『マダガスカルのパオバブ』福音館書店
『屋根のうえのバトンレー』ほるぷ出版	『アフリカで、バッグの会社ははじめました』さ・え・ら書房
『昆虫変態図鑑』ポプラ社	『生き物たちが先生だ』くもん出版
『海よ光れ!』国土社	『オリヒメ』子どもの未来社
『キッチンラボ 食材編』偕成社	『真鍋先生の恐竜教室』岩波書店
『お寿司まるごと図鑑』偕成社	『クジラの進化』講談社
『農業をささえる生きもの図鑑』小峰書店	『中村哲』あかね書房
『ニワシンドリのひみつをもとめて』理論社	『丸木俊』あかね書房
『巨大おけを絶やすな!』岩波書店	『3年間ホケツだった僕がドイツでサッカー指導者になった話』理論社
『ナメクジの話』偕成社	『人がつくった川・荒川』旬報社
『アラマタ式海の博物教室』偕成社	

ウ)「Japanese Children's Books 2024」

「おすすめ!日本の子どもの本2024」の英語版。巻末には、日本の国際アンデルセン賞受賞者/候補者、歴代IBBYオナーリスト作品のリストを掲載。費用削減のため、印刷せずにPDFをWebに掲載。配布用にはミニリーフレット(A6判)を印刷。

A6判リーフレット/4色	
発行日	2024年8月
表紙画	田島征彦
翻訳	宇田川エイヴリ、竹森ジニー、平野キャシー
協力	高野直子、堀内まゆみ、山崎美紀
特別協賛	日本児童教育振興財団

エ)「おすすめ！日本と世界の子どもの本 2025」

今回より、「おすすめ！日本の子どもの本」（海外に紹介したい日本の子どもの本）と「おすすめ！世界の子どもの本」（日本の読者に読んでほしい翻訳作品）を合冊。日本編は2023年9月から2024年6月に刊行された作品の中から合計83冊、世界編は2023年1月から12月に刊行された本の中から合計69冊を紹介。

AB判／23ページ／4色	
発行日	2025年3月
選書・執筆	奥山恵、坂口美佳子、さくまゆみこ、笹岡智子、神保和子、土居安子、野上暁、広松由希子
表紙画	田島征彦
協力	高野直子、堀内まゆみ、山崎美紀
特別協賛	日本児童教育振興財団

▽掲載図書（日本編83冊）

■絵本	
『くまくんです。』ひさかたチャイルド	『クリスマスマーケット』福音館書店
『たべるぞ たべるぞ』佼成出版社	『ふゆのあとには はるがきます』アリス館
『てんじつきさわるえほんぼうけんしよう!』偕成社	『まじよの すいぞくかん』福音館書店
『ゆきのゆきちゃん』ミシマ社	『アチケと天のじゃがいも畑』BL出版
『こどもべやのよる』岩波書店	『ぼくは ふね』福音館書店
『水は うたいます』理論社	『ミライチョコレート』白泉社
『えほん ときの鐘』ポプラ社	『ピアノ』偕成社
『もののけdiary』岩崎書店	『すこしとおくへ』あかね書房
『ちいさな木』偕成社	『つちたち』Gakken
『ニコニコハンバーグ』小学館	『ゆうぐれ』文溪堂
『わたしのおにぎょうさん』偕成社	『ねこまがたけ』岩崎書店
『ヤマビカリヤー』小峰書店	『魔女の一日』金の星社

■読みもの	
『とらまる、山へいく』徳間書店	『ナナのおけいこ』徳間書店
『ふろふき大根のゆうべ』あすなろ書房	『ぼくのねこ ポー』PHP研究所
『リリの思い出せないものがたり』ポプラ社	『あたしデイズ』新日本出版社
『さんごいろの雲』講談社	『サンタクロースは空飛ぶ宅配便ではありません』ポプラ社
『月さんとザザさん』小学館	『机の下のウサキチ』偕成社
『けものみちのにわ』BL出版	『直紀とふしぎな庭』静山社
『竜が呼んだ娘① 弓の魔女の呪い』講談社	『わたしに続く道』金の星社
『アップサイクル!』ポプラ社	『あるいは誰かのユーウツ』講談社
『girls』くもん出版	『G65』さ・え・ら書房
『6days 遭難者たち』講談社	『博物館の少女2 騒がしい幽霊』偕成社
『ピースケのいえで』童心社	『ぼくは、ういてる。』のら書店
『やっぱり犬がほしい』アリス館	『いいわけはつづくよどこまでも』偕成社
『暗やみに 能面ひっそり』BL出版	『アナタノキモチ』文研出版
『さよならミイラ男』講談社	『ともだち』小学館
『6年1組 すきなんだ』静山社	『学校に行かない僕の学校』ポプラ社
■ノンフィクション	
『うまれたよ! ヤモリ』岩崎書店	『トガリネズミひみつのくらし』世界文化社
『どんぐり』小峰書店	『シロツメクサはともだち』ブロンズ新社
『ゾウのはなのあなは、どこまでつづいているの?』あすなろ書房	『石は元素の案内人』福音館書店
『野山のいろいろうんこ図鑑』岩崎書店	『人間は料理をする生きものだ』福音館書店
『ひき石と24丁のとうふ』アリス館	『虫のからだ5 め』岩崎書店
『元気? 世界の子どもたちへ』朝日新聞出版	『読書バリアフリー』国土社
『海からいただく日本のおかず1〜3 干物／蒲鉾／魚卵』偕成社	『ホウキ』農山漁村文化協会

『池上彰の若い読者のためのアジア現代史 1』あすなろ書房	『保存修復の世界』偕成社
『原発事故、ひとりひとりの記憶』岩波書店	『それはわたしが外国人だから?』ヘウレーカ
『だれか、ふつうを教えてください! 増補新版』新曜社	『恋愛ってなんだろう?』平凡社
『うんこ虫を追え』福音館書店	『アマゾンのふしぎな森へようこそ!』合同出版
『カイコ 1000 匹が教えてくれたこと』文研出版	『保護ねこものがたり』ポプラ社
『待ってろ! 甲子園』ポプラ社	『国会への道』偕成社
『世界ぐるぐる怪異紀行』河出書房新社	『食べものから学ぶ現代社会』岩波書店
『平安のステキな! 女性作家たち』岩波書店	

▽掲載図書（世界編 71 冊）

■ 絵本	
『ねこはわたしの まねばかり』あかね書房	『ぼくのサビンカ』ブロvenz新社
『わたしたちのケーキのわけかた』偕成社	『ゆきのひ』徳間書店
『おじいちゃんの くるみの き』評論社	『おばあちゃんのにわ』偕成社
『きみが生きるいまのおはなし』文研出版	『じかんをまもれなかったクマのはなし』河出書房新社
『つきよのアイスホッケー』福音館書店	『なんにもおきない まほうのいちにち』ポリフォニープレス
『ぼくのせきをとったの、だれ?』ロクリン社	『イヌワシつかいのエルジャン』あかつき教育図書
『シッカとマルガレータ』子どもの未来社	『ナンティー・ソロ 子どもたちを鳥にかえたひと』BL 出版
『わたしは地下鉄です』岩崎書店	『世界で最後の花』ポプラ社
『ミーのどうぶつ BOOK』朔北社	『おちびさんじゃないよ』イマジネーション・プラス
『きつねがはしる』岩波書店	『サンタさんはどうやってえんとつをおりるの?』徳間書店
『しっぽばなし』世界文化社	『ぼくのじゃがいも』こぐま社

『まんげつのよるのやくそく』朔北社	『おしえてくれる? わたしのなまえ』ゴ布林書房
『ギゾギゾ! ゾンゴぬまのものがたり』犀の工房	『世宗大王をさがせ』TOY Publishing
『だれのせい?』green seed books	『リジーと雲』化学同人
『イエローバタフライ』講談社	『おばけのこ』求龍堂
■ 読みもの	
『パレエ団のねこピンキー』のら書店	『夏のサンタクロース』岩波書店
『ハンフリーは友だちがかり』偕成社	『わたしは あなたは』解放出版社
『アナグマの森へ』徳間書店	『しかばねの物語』のら書店
『水平線のかなたに』講談社	『図書館がくれた宝物』徳間書店
『西の果ての白馬』徳間書店	『パップという名の犬』評論社
『魔導師の娘』評論社	『希望のひとしづく』理論社
『車いすでジャンプ!』小学館	『クロスオーバー』岩波書店
『モノクロの街の夜明けに』岩波書店	『優等生サバイバル』評論社
『わたしたち地球クラブ』小学館	『わたしの心のきらめき』鈴木出版
『アンナの戦争』偕成社	『いまにヘレンがくる』偕成社
『シーリと氷の海の手賊たち』岩波書店	『ナイチンゲールが歌ってる』岩波書店
『最後の語り部』東京創元社	『ディス・イズ・マイ・トゥルース』静山社
『ローラ・ディーンにふりまわされてる』岩波書店	
■ ノンフィクション	
『海にしずんだクジラ』BL 出版	『心をひらいて、音をかんじて』光村教育図書
『ヨシ』あすなろ書房	『さようなら プラスチック・ストロー』光村教育図書
『死者のひみつ』BL 出版	『その絵ときたら!』ほるぶ出版
『動物園の 24 時間』小学館	『グレタ・トゥーンベリ』文芸堂

『ガウディさんとドラゴンの街』教育評論社	『寓話に生きた人イソップ』化学同人
『食べものはどこからきたの?』ほるぷ出版	『ニコラ・テスラものごとたり』評論社
『ホッキョククジラのボウ』小学館	『ある日、戦争がはじまった』小学館
『それって本当? メディアリテラシーはじめよう』岩崎書店	『ぼくが子どもだったころ』岩波書店

オ)「Japanese Children’s Books 2025」

「おすすめ！日本と世界の子どもの本 2025」のうち日本編の英語版。情報のみ Web に掲載。配布用としてミニリーフレット（A6 判）を印刷。

A6 判リーフレット／4 色	
発行日	2025 年 3 月
表紙画	田島征彦
翻訳	宇田川エイヴリ、竹森ジニー、平野キャシー
協力	高野直子、堀内まゆみ、山崎美紀
特別協賛	日本児童教育振興財団

4. 講座・研究会

ア) JBBY 希望プロジェクト・学びの会

国内の困難を抱える子どもたちを支援するプロジェクト「JBBY 希望プロジェクト」の活動をより有意義なものにするため、子どもたちが直面している困難の実情を学ぶ学習会を開催。本年は、オンラインで 1 回実施した。参加者 123 人。

1/26（日） オンライン	どんな子も本を楽しめるように～バリアフリー絵本づくりからみえたこと	講師： スギヤマカナヨ
------------------	-----------------------------------	----------------

5. 会報の発行

会報「Book & Bread」を 4 回発行した。

159 号 2024/6	表紙：館野鴻／巻頭レポート：スージー・リー来日記念講演会／エッセイ：小風さち
-----------------	--

160 号 2024/9	表紙：なかの真実／インタビュー：安東みさえ／エッセイ：宮崎詞美
161 号 2024/12	表紙：かめおかあきこ／インタビュー：花形みつる／エッセイ：西本和三
162 号 2025/3	表紙：国際子どもの本の日ポスター（オランダ：ヤネケ・イペンプルフ）／インタビュー：長倉洋海／エッセイ：佐藤いづみ
仕様	B5 版、36 頁、表紙カラー、本文モノクロ 印刷：TOPPAN クロレ
広告協力	岩波書店、偕成社、共同印刷、くもん出版、講談社、至光社、出版文化産業振興財団、小学館、大日本印刷、東京印書館、TOPPAN、TOPPAN クロレ、童心社、福音館書店
編集委員	喜入今日子（編集長）、太田美千子、小方桂子、高野直子、田中明子、堤嘉代、松岡由紀
デザイン・レイアウト	山崎美紀

6. オンラインによる広報活動等

ホームページや SNS で情報を発信した。JBBY YouTube チャンネルでは、会員翻訳家が、IBBY や JBBY がおすすめする本を紹介。Facebook や LINE に会員限定のグループを設け交流の場を提供した。

ホームページの会員専用ページでは、会報のバックナンバー、国際アンデルセン賞の推薦資料、講座のアーカイブ等を閲覧できるほか、JBBY 主催イベントの参加費割引コード等も掲載。

ホームページ	https://jbby.org/	
ホームページ（会員専用ページ）	https://jbby.org/password-2	
ホームページ（英文ニュース）	https://jbby.org/category/news/jbby-news-in-english	
Facebook	@JBBYpi	フォロワー 3095（+106）
Facebook オンラインサロン（会員限定）		参加会員 146（+13）

X	@JBBYpi	フォロワー 5225 (+443)
X (英文専用)	@JBBYpi_en	フォロワー 25 (+7)
Instagram	@jbby_kodomonohon	フォロワー 2485 (+267)
YouTube チャンネル	https://youtube.com/c/JBBYkodomonohon	登録者数 448 (+85)
LINE オープンチャット (会員限定)		登録者数 62
Peatix	https://jbby.peatix.com	フォロワー 3565 (+481)

* オンラインサロンとオープンチャットの参加方法は、ホームページの会員専用ページを参照。

* 会員専用ページのパスワードが不明な場合は、JBBY 事務局へお問い合わせください。

7. 協力事業（他団体との連携・協力）

ア) 子どもの読書推進会議

民間の読書関連団体が結成した「子どもの読書推進会議」構成団体として協力した。野上暁副会長が副代表を務めた。

構成団体 (順不同)	読書推進運動協議会、全国学校図書館協議会、日本雑誌協会、日本書店商業組合連合会、出版文化産業振興財団 (JPIC)、日本児童出版美術家連盟 (童美連)、日本図書館協会、日本書籍出版協会、日本出版取次協会、日本児童図書出版協会、日本児童文芸家協会、日本児童文学者協会、JBBY
---------------	---

イ) ブラチスラバからやってきた！世界の絵本パレード (国内巡回展)

JBBY が選定して BIB2023 (ブラチスラバ世界絵本原画展) に出展した日本人作家の原画を中心に、2023 年の受賞作等を紹介する国内巡回展に協力した。(主催：各開催館ならびに朝日新聞社)

10/12 ~ 11/17	福島県	喜多方市美術館
3/22 ~ 5/18	千葉県	千葉市美術館

ウ) 山田養蜂場「ミツバチの絵本コンクール」

植村志保理理事と喜入今日子理事が、第 7 回ミツバチの絵本コンクールに審査員として協力した。

エ) 太田市美術館・図書館 (群馬県)

事務局長が、運営委員として協力した。

オ) 後援事業

世界	ミツバチの一枚画コンクール	山田養蜂場
全国	JPIC 読書アドバイザー養成講座	出版文化産業振興財団 (JPIC)
全国	日産 童話と絵本のグランプリ	大阪国際児童文学振興財団 / 日産自動車
全国	アンデルセンのメルヘン大賞	アンデルセン・パン生活文化研究所
全国	いたばし国際絵本翻訳大賞	板橋区ほか
全国	ミツバチの絵本コンクール	山田養蜂場
全国	全国学校図書館研究大会 (高松)	学校図書館協議会
全国	日本子どもの本研究会全国大会	日本子どもの本研究会
北海道	けんぶち絵本の里大賞・けんぶち絵本原画展 (20 周年記念展)	剣淵町絵本の館
北海道	文化セミナー	絵本・児童文学研究センター
北海道	絵本作家 降矢なな原画展	北海道立文学館
宮城県	せとうちたいこさんにあったーい！ 長野ヒデ子絵本と紙芝居	仙台文学館
富山県	とやま元気ワールド・絵本ランド 2024 (オンライン)	富山新聞社ほか
長野県	2024 年春展 マザーグースを楽しむ	軽井沢絵本の森美術館
長野県	2024 年夏展 かこさとし 絵本への「まなざし」	軽井沢絵本の森美術館
長野県	2024 年秋冬展示 秋と冬の絵本めぐり	軽井沢絵本の森美術館

長野県	2025 年春展 たのしいイソップ童話の世界	軽井沢絵本の森美術館
長野県	絵本つなぐ「へいわ」展	安曇野ちひろ美術館
長野県 東京都	いわさきちひろぼつご 50 ねん こどものみな さまへ あ・そ・ぼ	安曇野ちひろ美術館／ちひろ美術館東京
長野県 東京都	いわさきちひろぼつご 50 ねん こどものみな さまへ あれこれいのち	安曇野ちひろ美術館／ちひろ美術館東京
長野県 東京都	いわさきちひろぼつご 50 ねん みんな なかま よ	安曇野ちひろ美術館／ちひろ美術館東京
東京都	ちひろのアルバム展	ちひろ美術館東京
東京都	上野の森親子ブックフェスタ	子どもの読書推進会議ほか
東京都	神沢利子さん生誕 100 年 記念展「北と星といのち と～同じうたをうたい続 けて」	三鷹市芸術文化センター
東京都	ポローニャ・ブックフェア in いたばし	板橋区
東京都	ポスト 3.11 絵本の今と これから	日本ペンクラブ
群馬県	あふれる、うごめく、の めりこむ。	太田市美術館・図書館
埼玉県	絵本ワールド in さいたま	十文字学園女子大学／子どもの読書推進会議
神奈川県	没後 10 年 古田足日の ぼうけん	県立神奈川近代文学館
兵庫県	アジア児童文学大会	アジア児童文学大会組織委員会

【その他の事業】

1. イタリア・ポローニャ国際絵本原画展（2 会場）

ポローニャ・ブックフェアで開催される「イラストレーター展」の入選作品を紹介する国内巡回展の事務局を務めた。今年度は 1 月の能登地震を受け石川県七尾美術館での開催が叶わなかった。石川県で

は原画展の代わりに、受賞作家たちのボランティアによる「おかわりポローニャ展」が県立図書館で開催された。

7/2 ～ 8/12	東京都	板橋区立美術館
8/17 ～ 10/14	兵庫県	西宮市大谷記念美術館

2. JBBY 希望プロジェクト

IBBY チルドレン・イン・クライシスの精神に則り、日本国内の困難な状況にある子どもたちに本を通した支援活動を行った。

ア) 支援活動

(1) 野馬追文庫

・ 図書の寄贈

福島県南相馬市の児童施設（小高交流センター、おだか認定こども園、聖愛こども園、聖愛ちいろうば園、マチエール）に季節の本を 3 回送付した。

・ ワークショップ

村中李衣氏の読みあいワークショップを開催した。

6/29（土）	南相馬市民情報交流センター（福島県）
6/30（日）	本宮市立しらさわ夢図書館（福島県）

■ 野馬追文庫

2011 年東日本大震災の後、南相馬市の仮設住宅に毎月本を送るプロジェクトからスタート。

(2) 支援活動

要請に基づき、下記 4 施設へ図書を寄贈した。寄贈本を決める際、「あしたの本だな」セットを貸し出して施設の子どもたちに選んでもらった。

木曽ねざめ学園（長野県）	60 冊
NPO 法人コスモス木曽郡発達支援センター（長野県）	50 冊
フリースペースえん（神奈川県）	60 冊
白山愛児園（神奈川県）	66 冊

(3) 避難してきた子どもたちへ本のプレゼント

日本に避難している外国の子どもたちに、文字がなくてもわかる絵本や布の絵本をプレゼントした。今

年度は、つくろい東京ファンドを通じて、インドネシアとウズベキスタンから避難してきた2家族に送った。

イ) あしたの本だな

実行委員有志が、東日本少年矯正医療・教育センターの図書コーナー作りに協力した。

ウ) 募金活動

希望プロジェクトの支援活動に限定した寄付を募った。2024年度は、トップバリュからいただいたチャリティ売上521,056円を含む総額785,056円を集めた。

■募金口座

ゆうちょ銀行 〇一八（ゼロイチハチ）支店
普通口座 2477506
名義：ニホンコクサイジドウトシヨヒョウギカイ

■JBBY希望プロジェクト

東日本大震災後、子どもの本に関わるいくつかの団体とともに立ち上げた「子どもたちへ〈あしたの本〉プロジェクト；2011-2016」で培った経験や反省をいかし、日本国内のさまざまな困難を抱える子どもたちに目を向け、本の力で希望ある未来を届けようと、JBBYが2017年に発足。

3. フォーラム・子どもたちの未来のために

構成団体のひとつとして、「フォーラム・子どもたちの未来のために」に参画した。

■フォーラム・子どもたちの未来のために

「特定秘密保護法」や一連の「安保法案」が子どもたちの未来を危うくするものと受け止め、子どもの本に携わる出版社、作家、画家、翻訳家、研究者など各方面の団体が危機感を共有して2013年に結成した連絡組織。会員への強制力はなく、勉強会を実施することで問題意識の拡大を図る。

構成団体：絵本学会、絵本作家・画家の会、童話著作者の会、日本児童図書出版協会、日本児童文学者協会、日本ペンクラブ「子どもの本」委員会、JBBY。<https://www.f-kodomotachinomirai.com/>

4. 会員主導の自主活動

ア) ノンフィクションの子ども本を考える会

2018年発足。2024年度はオンラインで2回実施。

5/27（月）	（読書会）ハタと膝を打ったノンフィクションの子ども本
3/5（水）	（講演会）保護ねことのかかわりをと おして子どもたちに伝えたいこと 講師：大塚敦子

イ) 絵本部

2022年発足。2024年度は1回実施。

5/6（月祝）	（遠足）太田市美術館・図書館（群馬県） 「あふれる、うごめく、のめりこむ。」
---------	---

ウ) おしゃべり本の虫の会

2023年発足。オンラインで、会員交流と自由な発言の場を提供。2024年度は2回実施。

7/5（金）	もっと話そう、なんでこうなの子どもの本？ポリコレと表現の制限、市場原理を超えて!?
2/7（金）	子ども本で最近気になること

エ) YouTubeチャンネルで本の紹介

「おすすめ！世界の子どもの本」に選定された会員翻訳家が、JBBYのYouTubeチャンネルで本を紹介。座談会も配信。

<https://www.youtube.com/@JBBYkodomonohon>

オ) 紙芝居部

2024年度末に「紙芝居部」が発足。2025年度から活動を開始する。

5. 物販

50周年を記念して小学館から出版した『おすすめ！子どもの本：新しい時代をつくる350冊』を仕入れ販売した。

【組織・その他】

1. 総会・理事会等の開催

理事会を6回実施した。総会は事前に会員から書面議決書と委任状を集め、役員だけが出席してオンラインで実施。報告会と親睦会を行った。

4/25 (木)	第 1 回 理事会	オンライン 出席 18 名 総会の件 / 修正予算案の 件 / 50 周年の件 / 入退会 の件 ほか
5/21 (火)	第 2 回 理事会	会場：神田カンファレン スルーム 出席 16 名 総会の件 / 50 周年の件 / 入退会の件 ほか
6/26 (水) オンライン	第 54 回 定時総会	議決権の数 557 出席（委任状含）155 書面議決書 170 2023 年度事業報告の件 / 2023 年度決算報告の件 / 2024 年事業計画と予算書 の件 ・総会后、会員交流会
9/11 (水) オンライン	第 3 回 理事会	出席 19 名 50 周年の件 / 国際アンデ ルセン賞推薦の件 / 役員 改選の件 / 入退会の件 / IBBY 世界大会報告 ほか
10/24 (木) オンライン	第 4 回 理事会	出席 19 名 50 周年の件 / 国際アンデ ルセン賞推薦の件 / 役員 改選の件 / 2025 年度助成 金の件 / 入退会の件 / ボ ローニャ出展の件 / IBBY アジアパシフィック地域 大会の件 / 新入会案内の 件 ほか
12/17 (火) オンライン	第 5 回 理事会	出席 20 名 50 周年の件 / IBBY サイ レントボックスの件 / 総 会と役員改選の件 / 入退 会の件 ほか
2/21 (金) オンライン	第 6 回 理事会	出席 20 名 国際子どもの本の日記念 事業の件 / 役員改選の件 / 2025 年度事業計画の件 ほか

副会長	広松由希子（絵本の評論、文、翻訳、展示 企画）
専務理 事	土居安子（大阪国際児童文学振興財団総括 専門員）
理事	植村志保理（西村書店編集者）
理事	太田美千子（講談社第三事業本部局長）
理事	おおつかのりこ（翻訳家）
理事	喜入今日子（小学館第二児童学習局プロデ ューサー兼児童創作室長）
理事	木村有子（翻訳家）
理事	さくまゆみこ（翻訳家）
理事	笹岡智子（東京子ども図書館）
理事	佐藤まどか（作家）
理事	汐崎順子（研究者）
理事	高野直子（編集者、海外出版）
理事	竹迫祐子（いわさきちひろ記念事業団理事）
理事	舘野鴻（画家、絵本作家）
理事	中野怜奈（翻訳家、ミュンヘン国際児童図 書館日本担当）
理事	堀内まゆみ（編集者）
理事	吉野万理子（作家）
監事	赤石忍（日本児童図書出版協会事務局長）
監事	阿部薫（元講談社編集者）
監事	柏原順太（元小学館編集者）

■ 事務局(東京都千代田区神田神保町1-32)

鳥塚尚子（事務局長）、齊藤美穂、八木恭子（非常勤）

2. 役員

■ 2023・24 年度の役員（2023 年 6 月から 2 年間）

会長	宇野和美（翻訳家）
副会長	代田知子（日本子どもの本研究会会長）
副会長	野上暁（日本ペンクラブ常務理事）

3. 理事会委員会図（2024 年度）

三役 会長 宇野和美 副会長 代田知子 副会長 野上 暁 副会長 広松由希子 専務理事 土居安子	企画事業委員会 委員長 野上	世界の子どもの本展（笹岡）／バリアフリー児童図書展（汐崎）／ポローニャ国際絵本原画展（広松）／希望プロジェクト・学びの会（笹岡）
	国際委員会 委員長 広松	IBBY・IBBY 支部との連携（宇野）／IBBY 世界大会・地域大会（高野）／国際子どもの本の日（笹岡・汐崎）／国際賞（中野）／日中韓プロジェクト（堀内）／情報発信（さくま）
	渉外・支援委員会 委員長 代田	希望プロジェクト（代田）／山田養蜂場絵本コンクール（喜入）／子どもの読書推進会議（野上）
事務局 事務局長 鳥塚尚子 齊藤美穂 八木恭子	編集出版委員会 委員長 土居	会報（喜入）／おすすめブックガイド（高野・堀内）／IBBY カタログ日本語版（植村）
	広報委員会 委員長 宇野	ホームページ（太田）／オンラインサロン（吉野）／X（吉野）／facebook（佐藤）／Instagram（堀内）／YouTube（おおつか）／LINE オープンチャット（おおつか・吉野）
	会員活動委員会 委員長 おおつか	ノンフィクションの子どもの本を考える会（おおつか）／絵本部（広松）／おしゃべり本の虫の会（佐藤）／ボランティア活動（木村）
	財務・労務委員会 委員長 竹迫	会計全般（竹迫）／ファンドレイジング（竹迫）／労務（野上）
	50 周年記念事業 委員長 宇野	広報（三役）／連続講座（中野）／記念展示（広松・おおつか・汐崎）／シンポジウム（土居）／絵本作家イベント（土居・広松）／50 年史（野上）／記念出版（さくま・土居・野上）／祝賀会（代田）／ファンドレイジング（竹迫）

4. 2024 年度プロジェクトに関わってくださった会員（スタッフ、講師、五十音順）

IBBY 支部としての活動 / 国際賞への推薦	IBBY との連携	宇野和美、高野直子、広松由希子
	国際子どもの本の日のイベント	安蒜由利子、飯塚友紀子、池上真澄、市川雅子、植村志保理、宇野和美、上地史人、太田美千子、小方桂子、門脇大、かみやにじ、児島なおみ、小沼里子、こはらみほ、小松原宏子、今野美紀、坂口美佳子、笹岡智子、笹山裕子、汐崎順子、代田知子、賈珊、杉本詠美、曽根田愛子、滝井なみき、館野鴻、田中潤子、土居安子、中野怜奈、長尾すみれ、那須田淳、南平かおり、ひろかわさえこ、広松由希子、藤田隆弘、藤原典子、堀内まゆみ、松井紀美子、松浦直美、宮崎詞美、もぎあきこ、山崎美紀、山崎みづは、吉野万理子、世界文化社、童心社、日産自動車
	日中韓共同プロジェクト	王玉、奥山恵、神谷丹路、坂口美佳子、さくまゆみこ、笹岡智子、汐崎順子、竹迫祐子、土居安子、野上暁、広松由希子、藤田隆広、福本友美子、堀内まゆみ、李麗
	推薦事業：国際アンデルセン賞	さくまゆみこ、申明浩、代田知子、土居安子、中野怜奈、野上暁、広松由希子、増田喜昭、松岡希代子
	推薦事業：IBBY サイレント・ボックス	笹岡智子、広松由希子、山本美希
	ポローニャブックフェア（2024/2025 出展準備）	飯塚友紀子、高木佳子、高野直子、野坂悦子、広松由希子、降矢なな、松岡希代子、森泉文美
図書展	世界の子どもの本展	安蒜由利子、鎌田真由子、笹岡智子、土居尻淑子、中古賀葉子、野坂悦子、藤原潤子
	世界のバリアフリー図書展	撓上久子、汐崎順子、寺崎恵子、松岡礼子、宮下華、柳沼志津子、ヴィアックス
ブックリストの作成	IBBY オナーリストカタログ日本語版	愛甲恵子、板谷ひさ子、植村志保理、王玉、大作道子、おおつかのりこ、大友香奈子、片桐早織、神谷丹路、川辺剛彦、木村有子、河野万里子、櫻井映子、鈴木真紀、武富博子、南平かおり、野坂悦子、松浦直美、松方路子、村岡直子、よこのなな、若松宣子、脇本美穂、李麗、日産自動車
	Japanese Children's Books おすすめ！日本の子どもの本 おすすめ！世界の子どもの本	梓澤設夫、奥山恵、坂口美佳子、さくまゆみこ、笹岡智子、汐崎順子、神保和子、高野直子、土居安子、野上暁、広松由希子、堀内まゆみ、山崎美紀

講座・研究会	希望プロジェクト・学びの会	さくまゆみこ、笹岡智子、代田知子、館野鴻、土居安子、中島尚子、野坂悦子、和田直
会報の発行	阿部薫、安東みきえ、植村志保理、太田美千子、小方桂子、鎌田真由子、かめおかあきこ、岸井美恵子、きのとりこ、河野万里子、小風さち、小松原宏子、佐川知子、さくまゆみこ、笹岡智子、佐藤いづみ、佐藤まどか、汐崎順子、代田知子、末盛千枝子、高野直子、高宮光江、館野鴻、田中明子、堤嘉代、土居安子、中古賀葉子、中島尚子、なかの真実、中村智子、長友恵子、西裕子、西本和三、濱野京子、早川敦子、広松由希子、藤田隆弘、堀内まゆみ、前沢明枝、正谷優貴、松岡由紀、松永緑、宮崎詞美、村岡直子、柳沼志津子、山崎美紀、吉野万理子、若松宣子、岩波書店、偕成社、共同印刷、くもん出版、講談社、至光社、小学館、大日本印刷、東京印書館、TOPPAN、TOPPAN クロレ、童心社、福音館書店	
広報・渉外	広報全般	植村志保理、宇野和美、太田美千子、おおつかのりこ、佐藤まどか、堀内まゆみ、吉野万理子
	ホームページ・SNS	いけがみますみ、宇野和美、太田美千子、佐藤まどか、汐崎順子、竹迫祐子、とよたともこ、中野怜奈、堀内まゆみ、吉野万理子、和田直
	情報発信（世界⇄日本）	宇野和美、大友香奈子、さくまゆみこ、佐藤まどか、須藤建、高野直子、中野怜奈、広松由希子、藤田隆弘、矢能千秋、和田直
	協力：子どもの読書推進会議	宇野和美、野上暁、鳥塚尚子
	協力：BIB 国内巡回展	広松由希子
	協力：山田養蜂場コンクール	植村志保理、喜入今日子
	協力：太田市美術館・図書館	鳥塚尚子
その他の事業	ポーロニャ国際絵本原画展	高木佳子、松岡希代子、森泉文美
	希望プロジェクト・支援活動	大塚敦子、攪上久子、さくまゆみこ、笹岡智子、清水由紀乃、代田知子、神保和子、鈴木史穂、館野鴻、土居安子、中島尚子、野口光世、野坂悦子、花井裕一郎、広松由希子、町田りん、村中李衣、柳沼志津子、山中かおり、和田直
	会員活動：ノンフィクションの子どもの本を考える会	おおつかのりこ、小原解子、さくまゆみこ、中島尚子、長友恵子、二階堂恵理、藤田隆弘
	会員活動：絵本部	館野鴻、田島征三、広松由希子
	会員活動：おしゃべり本の虫の会	植村志保理、宇野和美、おおつかのりこ、佐藤まどか、館野鴻、中村智子、横山和江、吉野万理子
	会員活動：YouTube 配信	宇野和美、おおつかのりこ、神谷丹路、櫛田理絵、さくまゆみこ、武富博子、中井はるの、中野怜奈、長友恵子、野坂悦子、原田勝、横山和江
	会員ボランティア	おおつかのりこ、木村有子、笹岡智子
50周年記念事業	ファンドレイジング	宇野和美、竹迫祐子、野上暁
	愛甲恵子、赤石忍、赤羽茂乃、阿部薫、有賀萌、安藤由利子、石川えりこ、市川雅子、岩瀬成子、岩田美津子、上橋菜穂子、植村志保理、宇野和美、太田美千子、おおつかのりこ、大友香奈子、片桐早織、柏原順太、角野栄子、蒲原章子、亀田邦子、喜入京子、きむらゆういち、木村有子、児島なおみ、児玉ひろ美、今野美紀、さくまゆみこ、笹岡智子、笹山裕子、佐藤まどか、汐崎順子、柴なほ、渋谷純子、代田知子、神保和子、末盛千枝子、杉原麻美、杉本詠美、杉山知隆、鈴木加奈子、曾根田愛子、高野直子、高宮光江、瀧澤有希子、竹迫祐子、武富博子、田島征三、館野鴻、田中明子、田中清代、田中潤子、垂石真子、堤嘉代、とよだかずひこ、土居安子、内藤亜記子、中島尚子、中辻悦子、中野怜奈、長友恵子、南平かおり、野上暁、野坂悦子、花井裕一郎、板東悠美子、広松由希子、福本友美子、降矢なな、堀内まゆみ、堀川理万子、松井紀美子、松浦直美、松岡希代子、松岡由紀、松本育子、松本猛、村山隆雄、百々佑利子、山崎美紀、矢能千秋、山川史郎、吉澤珠紀、吉野万理子、若松宣子、岩波書店、岩波書店、偕成社、共同印刷、くもん出版、講談社、子どもの未来社、至光社、小学館、大日本印刷、東京印書館、図書館流通センター、TOPPAN、TOPPAN クロレ、童心社、日産自動車、福音館書店、山田税理士事務所、山田養蜂場	